

2014. 1【vol.43】

水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社 発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

- | | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 平成26年新年のご挨拶（藤田関西支社長） | 1p |
| 2. 関西支社管内の気象と水源状況 | 2p |
| 3. 今年の抱負を語る | 3p |
| 4. 機構からの出向者紹介 | 5p |
| 5. 水に関する一口メモ ⑤
～ 藤堂高虎を訪ねて今治に ～ | 6p |
| 6. 水源地マラソン紀行 ～ 平成26年新年編 ～ | 7p |
| 7. イベント情報 | 7p |
| 編集後記 | |



1. 平成26年 新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

利水ユーザーならびに関係機関の皆様には、旧年中は独立行政法人水資源機構にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

水資源機構関西支社では、水資源機構の前身である水資源開発公団において、高度成長期の水需要に対処するため、「長柄可動堰改築」、「高山ダム」を皮切りに、我が国最大の湖沼開発である「琵琶湖開発事業」、「青蓮寺ダム」、「正蓮寺川利水」、「室生ダム」、「初瀬水路」、「一庫ダム」、「布目ダム」、「日吉ダム」、「比奈知ダム」の11事業を完成させ、水資源機構となった現在もそれらの管理と「丹生ダム」、「川上ダム」の二つの建設事業を実施しています。

とりわけ、淀川水系における水資源開発基本計画上の全開発水量のうち、水資源機構施設の割合は97%(76.55m³/s)に及んでいます。今や、これらの施設は近畿諸都市への水の安定供給と洪水被害軽減のための防災操作の実施を通じ、国民生活、経済・産業活動の基盤としてなくてはならない存在となっております。

造る時代の20世紀から管理の時代の21世紀へと時代は変わっても、私たちの果たす使命は変わりません。

一方でわが国の経済は、既に高度経済成長を成し遂げ、わが国の経済を支えた「水資源」については、量的な開発より良質で効率的な管理が求められています。今後、水資源機構のみならず、ダムを有する自治体にとって同様な課題を抱えていくと考えられますが、水資源機構が事業を通して、日本各地で蓄積した技術を社会貢献という形で関わっていくことができれば幸いであると考えています。

本年も、独立行政法人水資源機構へのさらなるご理解とご支援を頂けますようによろしくお願い申し上げます。

平成26年 1月

独立行政法人 水資源機構

関西支社 支社長 藤田 乾一

2. 関西支社管内の気象と水源状況

12月の気象状況は、気象庁の発表によると、冬型の気圧配置となる日が多かったことや、たびたび低気圧が本州付近を通過したため、東日本の太平洋側を除き全国的に降水量が多かった。

近畿地方では、日本海側及び太平洋側において平年を上回る降水量がありました。

関西支社管内の水源における月間の降水量は、布目ダムと一庫ダムを除き各施設とも平年並か平年を上回る結果となっています。

現在のところ、各ダムとも計画的に貯水を続けております。

※ 比奈知ダムでは、ダム貯水池内において工事を施工しておりましたが、1月16日から貯水を開始しました。

～ 水資源機構(関西支社管内)の水源状況 ～

平成26年1月17日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m ³)	貯水率(%) ^{※2}	降水量(mm) ^{※3}	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	125.65	4,425	89.9	49	50
青蓮寺ダム	276.47	1,860	97.4	60	48
室生ダム	295.01	1,283	96.5	83	52
布目ダム	283.48	1,223	96.3	42	56
比奈知ダム	291.52	921	60.2	59	45
一庫ダム	142.65	2,128	79.4	44	61
日吉ダム	190.96	3,517	97.7	58	51
琵琶湖	B.S.L. -11cm	—	—	139	117
7ダム 合計	—	15,357	87.2%	—	—

※1 琵琶湖水位は、1月17日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しております。

※3 降水量については、12月1日～12月31日までの累計値で、琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

水資源機構の関西支社管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

水資源機構関西支社 HP ↓↓↓

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(関西支社 施設管理課)

3. 今年の抱負を語る

今年も新たなスタートを切りましたが、水資源機構関西支社管内に勤務する年男の「今年の抱負」を語っていただきましたので、ご紹介させていただきます。

◆ 笠原 諭（関西支社 設備課）

関西支社に勤務させて頂いて2年が過ぎようとしています。

関西支社までは自宅からの電車通勤ですが、毎日のJRと地下鉄の満員電車でやっと慣れてきたところです。

最近、体重が増えてきており、お腹周りがぼっちやりしたところで落ち着きだしたので、今年はそろそろ本気で減量に取り組みたいと思っています。併せて、出来たら禁煙も実行したいと・・・。

日々の体調管理を行い、健康第一で仕事に取り組みたいと思います。

【プロフィール】

滋賀県出身、昭和53年生まれ、平成12年入社



◆ 朝倉 誠（琵琶湖開発総合管理所 機械課）

数十年かけて貯めた荷物を整理する。特に服と本
今年は環境が大きく変わるため体調維持に努める。

芸術を大いに楽しむ。音楽、特にオペラ
旅行を楽しむ。

終の棲家の検討にはいる。

【プロフィール】

出身 富山県 昭和29年5月生まれ
昭和50年公団入社



◆ 藤田 正樹（木津川ダム総合管理所 機械課）

前回の年男から比べますと、結婚して、2人の子供を授かり、マイホームを名張に建て、人生の大イベントの大半を達成し非常に大きな変化があった12年間でした。

水レターへの執筆依頼のお陰で、再確認することが出来ました。ありがとうございます。

仕事では一人前と呼ばれる年齢になりました。

様々な能力が問われますが、個人的には「判断力」と「実行力」が重要と考えておりま



す。

日々の業務からそれらを忘れずに取り組んで参ります。

あと、今年の3月で結婚10年になります。

奥様が年末くらいから「期待はしていないけど、スイートテン・・・」という謎の呪文を唱えていました。

謎の呪文につきましても「判断力」と「実行力」で頑張ります！

平成26年も皆様にとって良い年でありますように (^_^)/^^

【プロフィール】

大阪府出身。平成9年入社で木津総3年目。

機構内で存在しているのかと言われる「オリックス（阪急）ファン」です。

◆野村 達彦（一庫ダム管理所）

新年明けましておめでとうございます。

平成25年10月に異動で3年ぶりに関西に戻って来ました。

勤務先の事務所は職員、継続雇用等全員合わせて20名に満たない所帯ですので、今年の抱負は（月並みですが）昨年同様みんなが健康で、まとまりのある明るい事務所となるよう、頑張りたいと思っています。

【プロフィール】

大阪出身、北河内育ち。入社後2度目の関西勤務。

関西弁が周りにある毎日が新鮮です。



◆井上 剛識（一庫ダム管理所）

年末年始の不摂生がたたって、体重が増加しました。

また、早くも老化？により白髪が増加中です。

今年は、これら問題に正面から向き合い節制に努めて参ります。

最後に気がつけば一庫ダムに勤務して4年が経過しようとしています。

4月以降も関西で頑張れるよう仕事にも努力していきます。

【プロフィール】

広島県出身。平成13年入社で今年で36歳になる年男です。



4. 機構からの出向者紹介

今回は、平成 25 年 4 月から独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の鉄道建設本部大阪支社用地部用地第一課で働く『登里 聡（のぼり さとし）』さんを紹介します。

～ 北陸新幹線 用地補償業務に日々奮闘 ～

登里さんは、昭和 59 年に水資源開発公団に入社後、「琵琶湖開発事業建設部」、「川上ダム調査所、建設所」、「中部支社」、「木曾川用水総合事業所」、「琵琶湖開発総合管理所」、「丹生ダム建設所」、「徳山ダム建設所、管理所」、「丹生ダム建設所」に勤務され、主に機構事業に必要な用地取得や補償業務などに従事されてきました。

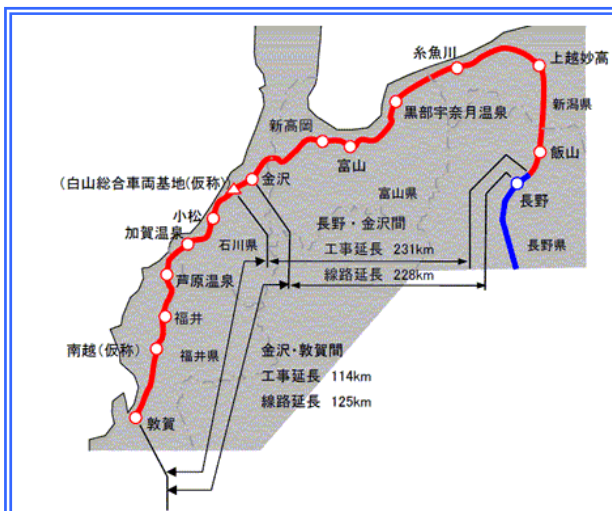
今年の 4 月からは、大阪市淀川区にある鉄道建設本部大阪支社に出向され、北陸新幹線の整備に必要な用地補償業務を担当されています。

北陸新幹線は、長野・富山・金沢・敦賀を經由して、将来的には東京と大阪を結ぶ路線となります。現在は長野～金沢間（平成 27 年春開業予定）及び金沢～敦賀間（長野～金沢間の開業から約 10 年後に開業予定）の整備を行っています。長野～金沢間については、再来年春の開業に向けて鋭意工事を進めており、登里さんは、石川県内の用地補償業務に従事されています。

用地の関係ということで、現地（石川県内）での用地境界杭の設置などの立ち会いや、石川県・地元自治体との調整などが多く、月の半分を出張することもあるそうです。また、出向した当初は、同じ用地補償業務でも、水資源機構とは用地取得の手続きが異なるところも多くて戸惑ったようですが、最近では慣れてきたとのこと。

「開業までの限られた時間の中で、現時点で残っている用地業務を全て完了させることができるかどうか心配だ」と、仕事上でのご苦労を語ってくれました。

登里さんは、単身生活 8 年目になりましたが、夜にたとえ酔って帰っても翌日の朝にはかかさずお弁当を作っているそうです（健康管理はバッチリ!?ですね）。また、毎週末には自宅に戻って、愛車でツーリングするのが楽しみなのだそうです。



(独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 HP より)

終始、明るい笑顔で話してくれた登里さんですが、くれぐれも身体には気をつけていただき、再来年春の開業に向けて頑張っていたいだきたいと思います。

水レター「びわ湖・よど川」では、次号からも出向者の紹介を連載して参ります。

(関西支社 利水者サービス課)

5. 水に関する一口メモ ⑤

～ 藤堂高虎を訪ねて今治に ～

前回紹介した松山に坂村真民、正岡子規を訪ねた後、藤堂高虎が築いた今治城に向かいました。今回は高虎が築城に係わった今治城、膳所城と伊賀上野城について紹介します。

【藤堂高虎と今治城】

① 藤堂高虎

高虎は、近江国犬上郡藤堂村（現 滋賀県犬上郡甲良町）出身で、姉川の合戦で初めて浅井長政軍の足軽として仕え、のちに豊臣秀長・秀吉、関ヶ原の戦いで東軍に属し、以後徳川家に仕えた。

高虎は、築城技術に長けた武将であり今治城のほか宇和島城、膳所城、津城、伊賀上野城等を築城している。

② 今治城（高虎が 馬乗初めし 今治城）

関ヶ原の戦いでの戦功により伊予半国 20 万石を領した高虎が、瀬戸内海に面した海岸に築いた大規模な平城である。慶長 7 年（1602）に築城を始め、建造物を含めて完成したのは同 13 年頃と推測される。

当地に築城した理由は、瀬戸内海の要衝である来島海峡を押さえる地であったこと、今治は古来より、国府・府中があり伊予国内の政治的中心であったこと、等が考えられる。

今治城は、北東側に瀬戸内海を臨み、それ以外の三方は三重の水堀で囲まれていた。

格段に広い堀には海水が引き込まれ、干満に応じて海水の入れ替えが行われるようになっている、日本屈指の海城であった。

【膳所城】

慶長 5 年（1600 年）関ヶ原の戦いに勝利し名実共に天下人となった徳川家康は、翌、慶長 6 年（1601 年）に東海道の押さえとして、大津城を廃し膳所崎に城を築かせた。

膳所城は江戸城、大坂城、名古屋城など天下普請として江戸幕府が諸大名に号令し築いた城の第 1 号である。縄張りには城造りの名手と言われた藤堂高虎に計画させた。湖の中に石垣を築き、本丸西隅に 4 重 4 階の天守が築かれた。

築城にあたっては、関ヶ原の戦いで損傷を受けた大津城を改修する案も検討されたが、大津城は背後の長等山から城内が見渡せるという欠点があることから、家康は大津城を廃して昔より「瀬田の唐橋を征するものは天下を征する」と言われた瀬田の唐橋に近い場所の膳所を選んだと言われる。湖岸に築城された膳所城は、

「瀬田の唐橋 唐金擬宝珠（からがねぎぼし）水に映るは膳所の城」

と詠われ、別名を「石鹿城」とも呼ばれた。

なお、膳所城は徳川家康が関ヶ原の戦い後、最初に築いた城で、徳川家康は慶長 8 年（1603）に彦根城、慶長 13 年（1608）には丹波篠山城、慶長 16 年（1611）には伊賀上野城と大阪方に備えて城を築いていく。

【伊賀上野城】

慶長 13 年（1608）徳川家康は、藤堂高虎に伊予今治からの転封を命じ、伊賀・伊勢 22 万石を与えた。そして 3 年後の慶長 16 年から来るべき大阪方との決戦に備えて、有事の居城として伊賀上野城の改修を行ったという。地山を利用して濠を深くし石垣も高くして高さ約 30m の高石垣を巡らした。徳川家康は藤堂高虎を築城顧問として、大阪包圍網の形成に積極的に係らせ元和元年（1615）の大阪夏の陣で豊臣家を滅亡させた。その後、武家諸法度によって諸大名の城普請が禁じられ、伊賀上野城の大改修は中止されたとのことである。

平成 26 年正月 吉祥駿馬

※ 前号の文中の「石出川」は「石手川」の誤りでした。



騎乗の高虎（現今治城内）



現在の膳所城跡



膳所公園（城跡）の全景

（上席審議役 原 稔明）

6. 水源地マラソン紀行 ～ 平成26年新年編 ～

明けましておめでとうございます。

昨年は幸い水源地でのマラソン大会に多く出場いたしました。また、昨年は猛暑と座骨神経痛により、夏場に走り込みが不足し、記録の伸び悩んだ1年でもありました。

今年もできる限り参加していきたいと思っております。各地でお会いしたら気軽にお声かけしてください。皆様とお会いできることを楽しみにしています。

◎今年目標「フルマラソンを歩かず完走」

【今後の参加予定の大会】

- 2月 月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会(高山ダム)
- 2月 名張青蓮寺湖駅伝競走大会(青蓮寺ダム)
- 3月 淀川国際マラソン(淀川)



記録はいまいち、ダムを走る男

(ダムを走る男)

7. イベント情報

1月以降に予定されているイベントなどをご紹介します。



開催時期	行事名・主催	開催場所	概要
2月8日(土) 2月9日(日) (一庫ダム)	フィッシングショー OSAKA 2014 大阪釣具共同組合 事務局 HP : http://www.fishing.or.jp/index.html	インテックス大阪 6号館A・Bゾーン および4号館(イベント会場)	『水辺で出会う夢・感動』をテーマに開催されます。 一庫ダムのブースに是非お越し下さい。

○ 月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会

開催場所 : 京都府相楽郡南山城村(高山ダム)

開催日 : 2月16日(日)

申し込み期限 : 平成26年1月17日(金)

大会HP : <http://www.e-marathon.jp/tsukigase/>

○ 名張青蓮寺湖駅伝競走大会

開催場所 : 三重県名張市(青蓮寺ダム)

開催日 : 2月23日(日)

申し込み期限 : 1月6日～ 先着80チーム

大会案内チラシ : http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/syourenji/event/pdf/20140223_syourenji_ekiden.pdf



○ 日吉ダムマラソン 中止

日吉ダムマラソンについては、昨年の台風18号により日吉ダム湖の周辺道路(マラソンコース)が被災したため、今年は中止となりました。

(関西支社 利水者サービス課)

編集後記



新年、あけましておめでとうございます。

旧年中は、『水レター「びわ湖・よど川」』をご愛読いただき、誠にありがとうございました。

昨年の秋までは、日本列島の各地で渇水が懸念されていましたが、昨年9月16日に愛知県に上陸した台風18号の降雨により、淀川水系では、大規模な出水となりました。

特に日吉ダムでは計画最大流入量を上回る流入量を記録し、管理開始以降最大となる洪水調節を実施したほか、一庫ダムと布目ダムにおいても管理開始以降最大となる流入量を記録しました。

水資源機構が管理する関西支社管内の7ダムでは、洪水調節（防災操作）を実施し、ダム下流河川の水位低減、洪水被害軽減を図り、特に日吉ダムでは、ダムの貯水容量を最大限に活用して洪水を貯留する操作を行い、ダム下流河川への流量を低減しました。

また、木津川上流のダム群（高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダム）では、各ダムの連携操作により名張川及び淀川本川の水位低下に努めました。

昨今では、地球温暖化現象の影響であるのか定かではありませんが、ゲリラ豪雨の増加など顕著な現象が生じております。引き続き万全な管理に努めてまいります。

また、昨年11月、一庫ダムにおいて、利用者・関係府県の皆様に「ダム定期検査」の公開を初めて行い、水資源機構のダムの管理について、理解を深めていただきました。

今後、益々、ダムを含めた公共インフラの老朽化が重要な課題となってまいります。

水資源機構がダムの管理を通して蓄積した技術を社会貢献という形で関わっていくことが出来れば幸いです。

『水レター「びわ湖・よど川」』では、水資源機構からの情報配信はもとより、利用者の皆様や水源地域の情報についても、素早い情報提供に努めてまいります。今年1年、引き続き、ご愛読いただきますようお願いいたします。

本年も皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

平成26年1月

水レター編集委員



水資源機構ツイッター

http://twitter.com/jwa_PR

水資源機構関西支社

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai>

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。（耳寄りな情報もお待ちしております。）

[mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp](mailto:w-kansai@msg.biglobe.ne.jp)